

1【四半期財務書類】

(1)【四半期連結財務諸表】

①【四半期連結貸借対照表】

		前連結会計年度 2016年12月31日 (単位：千米ドル)	前連結会計年度 2016年12月31日 (単位：百万円)	当第1四半期 連結会計期末 (2017年3月31日) (単位：千米ドル)	当第1四半期 連結会計期末 (2017年3月31日) (単位：百万円)
資産の部					
流動資産					
現金及び預金		989	111	2,756	309
売掛金	※1	1,354	152	771	86
未収入金		46	5	40	5
デリバティブ資産		1,933	217	1,933	217
その他		351	39	285	32
流動資産合計		4,673	524	5,785	649
固定資産					
有形固定資産					
建物及び構築物		171	19	171	19
減価償却累計額		△ 170	△ 19	△ 171	△ 19
建物及び構築物（純額）		0	0	0	0
工具、器具及び備品		396	44	400	45
減価償却累計額		△ 368	△ 41	△ 375	△ 42
工具、器具及び備品（純額）		28	3	25	3
有形固定資産合計		28	3	25	3
無形固定資産					
のれん		12,062	1,353	11,717	1,315
ソフトウェア		81	9	62	7
ソフトウェア仮勘定		264	30	269	30
無形固定資産合計		12,407	1,392	12,048	1,352
投資その他の資産					
関係会社株式		1,033	116	1,007	113
投資その他の資産合計	※1	1,033	116	1,007	113
固定資産合計		13,468	1,511	13,080	1,467
資産合計		18,141	2,035	18,865	2,116

		前連結会計年度 2016年12月31日 (単位：千米ドル)	前連結会計年度 2016年12月31日 (単位：百万円)	当第1四半期 連結会計期間末 (2017年3月31日) (単位：千米ドル)	当第1四半期 連結会計期間末 (2017年3月31日) (単位：百万円)
負債の部					
流動負債					
買掛金		1,231	138	645	72
短期借入金		514	58	536	60
未払法人税等		84	9	84	9
未払金		1,325	149	1,198	134
未払費用		2,036	228	2,027	227
前受収益		32	4	60	7
その他		45	5	46	5
流動負債合計		5,268	591	4,595	515
固定負債					
長期借入金		2,777	312	2,918	327
繰延税金負債		1	0	1	0
固定負債合計		2,778	312	2,919	327
負債合計		8,046	903	7,513	843
純資産の部					
株主資本					
資本金		15	2	19	2
資本剰余金		427,662	47,979	430,155	48,259
利益剰余金		△ 383,369	△ 43,010	△ 384,407	△ 43,127
株主資本合計		44,308	4,971	45,767	5,135
その他の包括利益累計額					
為替換算調整勘定	※2	△ 34,645	△ 3,887	△ 34,740	△ 3,897
その他の包括利益累計額合計		△ 34,645	△ 3,887	△ 34,740	△ 3,897
新株予約権		432	48	324	36
純資産合計		10,095	1,133	11,351	1,274
負債純資産合計		18,141	2,035	18,865	2,116

②【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	前第1四半期連結累計期間 自 2016年1月1日 至 2016年3月31日 (単位：千米ドル)	前第1四半期連結累計期間 自 2016年1月1日 至 2016年3月31日 (単位：百万円)	当第1四半期連結累計期間 自 2017年1月1日 至 2017年3月31日 (単位：千米ドル)	当第1四半期連結累計期間 自 2017年1月1日 至 2017年3月31日 (単位：百万円)
売上高	2,022	227	1,180	132
売上原価	1,515	170	1,009	113
売上総利益	507	57	171	19
販売費及び一般管理費				
役員報酬	25	3	25	3
給料及び手当	468	53	270	30
広告宣伝費	11	1	0	0
減価償却費	6	1	1	0
のれん償却額	345	39	345	39
貸倒引当金繰入	-	-	6	1
支払手数料	523	59	204	23
地代家賃	128	14	72	8
その他	287	32	221	25
販売費及び一般管理費合計	1,793	201	1,144	128
営業損失(△)	△ 1,286	△ 144	△ 973	△ 109
営業外収益				
受取利息及び配当金	1	0	0	0
為替差益	96	11	90	10
受取手数料	-	-	7	1
補助金収入	26	3	13	1
営業外収益合計	123	14	111	12
営業外費用				
支払利息	135	15	145	16
持分法による投資損失	25	3	30	3
営業外費用合計	161	18	175	20
経常損失(△)	△ 1,324	△ 149	△ 1,038	△ 116
特別利益				
新株予約権戻入益	5	1	-	-
特別利益合計	5	1	-	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 1,320	△ 148	△ 1,038	△ 116
法人税、住民税及び事業税	1	0	1	0
法人税等合計	1	0	1	0
四半期純損失(△)	△ 1,320	△ 148	△ 1,038	△ 116
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	-	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 1,320	△ 148	△ 1,038	△ 116

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	前第1四半期連結累計期間 自 2016年1月1日 至 2016年3月31日 (単位：千米ドル)	前第1四半期連結累計期間 自 2016年1月1日 至 2016年3月31日 (単位：百万円)	当第1四半期連結累計期間 自 2017年1月1日 至 2017年3月31日 (単位：千米ドル)	当第1四半期連結累計期間 自 2017年1月1日 至 2017年3月31日 (単位：百万円)
四半期純損失 (△)	△ 1,320	△ 148	△ 1,038	△ 116
その他の包括利益				
為替換算調整勘定	△ 119	△ 13	△ 99	△ 11
持分法適用会社に対する持分相当額	△ 0	△ 0	4	1
その他の包括利益合計	△ 120	△ 13	△ 94	△ 11
四半期包括利益	△ 1,440	△ 162	△ 1,133	△ 127
(内訳)				
親会社株主に係る四半期包括利益	△ 1,440	△ 162	△ 1,133	△ 127
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-	-	-

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

当社グループは、当第1四半期連結累計期間において、前連結会計年度から引き続き営業損失973千円(109百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失1,038千円(116百万円)を計上しております。

前々連結会計年度の第4四半期よりGINSMS Inc. (以下、「GINSMS」といいます。)の売上高の合算を開始し、前連結会計年度の第4四半期より不採算であった金融情報配信事業を廃止しましたが、営業費用が依然として高いことから、当社グループは当第1四半期連結累計期間においても継続して営業損失を計上しております。また、当社グループのキャッシュ・フローは非常に厳しいため、引き続き既存の借入金を返済するための十分な資金が不足しております。これらの状況により継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

GINSMSは現在、クラウド・ベースのA2Pメッセージング・サービスにフォーカスしております。GINSMSの事業は、2014年3月にA2Pメッセージング・サービスを開始して以来成長しており、現在保有している資金で継続的に成長していく見込みですが、セールス・オペレーションを拡大するための更なる資金を継続的に調達できれば、さらに成長する見込みです。

2017年3月31日現在、当社グループは、マッコーリー・バンク・リミテッド、Lie Wan Chie氏及びEsther Mo Pei Pei氏に発行した未行使の新株予約権を保有しております。当第1四半期連結累計期間に、これらの新株予約権の一部が行使されたことにより、当社グループは更に資金を調達することができました。当社グループは、残りの新株予約権の行使により、更に追加的に資金を調達することにより当社グループのモバイル事業を拡大し、現在の状況を改善できることを期待しております。

また、当該状況を解消するため、当社は継続的に経費削減を実施し、資産売却による資金調達できる機会の検討を行っていきます。加えて、当社グループは収益性及び営業キャッシュ・フローのプラスの双方の観点から、新規事業に対する投資を模索し、新たな資本注入に加え、事業のリストラクチャリングも含めた様々な手法により成長機会をとらえていきたいと考えております。

ただし、当社グループの事業の継続可能性は、今後の当社グループの資産売却や新株予約権の行使による資金調達や事業再編の達成及び事業の成長による成功に強く依存していることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。なお、当四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を当四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(四半期財務諸表の円換算)

「円」で表示されている金額は、四半期財務諸表等規則第88条の規定に準じて、2017年3月31日現在の株式会社三菱東京UFJ銀行における対顧客電信売買相場の仲値、1米ドル=112.19円で換算された金額であります。なお、当該円換算額は、単に表示上の便宜を目的としており、米ドルで表示された金額が上記の相場で実際に円に換算されることを意味するものではありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

前連結会計年度 (2016年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年3月31日)
※1 債権額は貸倒引当金と相殺して表示しております。 流動資産に設定された貸倒引当金の金額 103 (12)	※1 債権額は貸倒引当金と相殺して表示しております。 流動資産に設定された貸倒引当金の金額 13 (2)
投資その他の資産に設定された貸倒引当金の金額 883 (99)	投資その他の資産に設定された貸倒引当金の金額 883 (99)
※2 当社における機能通貨から報告通貨への換算に伴い発生する換算差額を含んでおります。	※2 同左

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は次のとおりであります。

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

前第1四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)
減価償却費 34 (4)	減価償却費 25 (3)
のれんの償却額 345 (39)	のれんの償却額 345 (39)

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2016年1月1日 至 2016年3月31日）

株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2017年1月1日 至 2017年3月31日）

株主資本の著しい変動

当第1四半期連結累計期間において新株予約権等の行使により普通株式を3,168,199株発行したことにより、資本金及び資本剰余金がそれぞれ4千米ドル(0百万円)、2,493千米ドル(280百万円)増加しました。

当第1四半期連結会計期間末において、資本金は19千米ドル(2百万円)、資本剰余金は430,155千米ドル(48,259百万円)となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	金融情報配信 事業	モバイル事業	その他の事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	850 (95)	1,171 (131)	1 (0)	2,022 (227)	- (-)	2,022 (227)
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
合計	850 (95)	1,171 (131)	1 (0)	2,022 (227)	- (-)	2,022 (227)
セグメント利益又は損失(△)	△137 (△15)	△488 (△55)	△696 (△78)	△1,320 (△148)	- (-)	△1,320 (△148)

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益又は損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	モバイル事業	その他の事業	合計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,179 (132)	1 (0)	1,180 (132)	- (-)	1,180 (132)
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
合計	1,179 (132)	1 (0)	1,180 (132)	- (-)	1,180 (132)
セグメント利益又は損失(△)	△623 (△70)	△415 (△47)	△1,038 (△116)	- (-)	△1,038 (△116)

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益又は損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第4四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載する事業セグメント「金融情報配信事業」を廃止しております。これは、当社の完全子会社である新華ファイナンシャル・ネットワーク・リミテッドが保有するフォーチュン・チャイナ・パブリック・リレーションズ・リミテッド (以下「香港フォーチュン・チャイナ」といいます。) の50%の持分譲渡によるものです。その結果、香港フォーチュン・チャイナ及びその完全子会社であるフォーチュン・チャイナ・パブリック・リレーションズ (北京) リミテッドは、当社グループの連結範囲から除外されました。

3. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(単位：米ドル、括弧内は円)

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)
1株当たり四半期純損失金額 (△)	△0.16 (△17.95)	△0.07 (△7.85)

(算定上の基礎)

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)
親会社に帰属する四半期純損失金額 (△)	△1,320 (△148)	△1,038 (△116)
普通株主に帰属しない純損失金額(△)	- (-)	- (-)
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失金額(△)	△1,320 (△148)	△1,038 (△116)
普通株式及び優先株式の期中平均株式 数(株)	8,176,122.31	14,304,313.26
普通株式	7,951,122.31	14,079,313.26
優先株式	225,000.00	225,000.00
希薄化効果を有しないため、潜在株式 調整後1株当たり四半期純利益金額の算 定に含めなかった潜在株式で、前連結 会計年度末から重要な変動があったも のの概要	-	-

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

2 優先株式は剰余金の配当請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株式としております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。